

昔、創造主は、まだ地球と空を分けていませんでした。それはとても近かったのです。空はほぼ、地球に腰掛けていました。鳥は地面の近くを飛びました。走ったり飛ぶことができた動物は、飛んでいるような気分でした。

ある日の朝、ヘラジカが、湖で水を飲んでいました。水の中で、空が反射するのを見ました。何か変でした。ヘラジカは顔を上げました。空が動いているのが見えました。地球から離されていきました。「こんなことがあってはいけない」とヘラジカは言いました。空の下へと枝角を突きました。そして地球のそばへ固定しようとしてしました。他の動物に助けを求めました。しかし空は動き続けます。すぐにヘラジカは地面から引き上げられてしまいました。枝角を空から引き抜くと、ドスンと地面に倒れてしまいました。

クマがヘラジカの呼びかけを聞き、走ってやって来ました。見上げると、空が地球から引き離されていくのが見えました。「こんなことがあってはいけない」とクマは言いました。飛び上がると、自分のかぎ爪を空に刺し、下に引っ張ろうとしました。しかし、空は上へと動き続けました。すぐにクマは一緒に持ち上げられてしまいました。かぎ爪を引き離すと、地面に落ちました。他の動物も走ってやって来ました。見上げると、空が地球から引き離されていくのが見えました。飛び上がって掴もうとしましたが、上手くいきません。どうしたらいいのか、全員で話し始めました。話していると、おばあちゃんグモが来て言いました。

「私に考えがある」

「おばあちゃんグモ」と動物たちは言いました。「これは深刻な問題です。「ほんとうに深刻な問題で、あなたには大き過ぎます。大きなヘラジカや、巨大なクマでも、空を引き下げることは出来なかったんです。二人はあなたよりもずっと強いのにです」「だけど、私には上手く行く考えがあるのじゃ」とおばあさんグモは言いました。「今ではありません、おばあさん。そんな時間はありません」

おばあちゃんグモはうろたえました。しかし、みんなが心配しているのだと分かりました。彼女は村から走り去ると、一番近くの山のそばへ登りました。おばあちゃんグモは、長い糸を紡ぎ始めました。何度も何度も紡ぎました。それからその糸を織物にするため、編み始めました。それが出来上がると、おばあちゃんグモは織物を丸めてボール状にし、片方の端を、木に結び付けました。糸でできたボールを投げ、空高くまでクモの巣を張りました。ものすごく高いところまで行きました。それから地面に落ちると、ほどけてしまいました。空までは届かなかったのです。

おばあちゃんグモは走って、織物を全部集めました。そしてもう一回、巨大なボール状に丸めました。糸のボールを投げました。それは、高いところまで行きました。けれど、また空には届きませんでした。地面に落ちて、ほどけてしまいました。

おばあちゃんグモは走って、織物を集めました。もう一度、大きなボール状に丸めました。ボールを空へと投げました。これで三回目です。今回は、空の端に届きました。織物でできたボールが、空に引っかかったのです。おばあちゃんは、その織物の上を出来るだけ速く登っていき、空を渡って走りました。また別の織物を空へとくっつけると、地球までジャン

プして降りてきました。地球の方へ降りると、また別の織物を紡ぎました。何度も何度も紡ぎました。

地球に手を伸ばすと、おばあちゃんグモはその線を地球にくっつけ、最初の糸をまた登って行きました。絶えず登って行くと、新しい織物を空にくっつけ、地球に降りてくると織物を紡ぎました。

その日の昼も夜もずっと、おばあちゃんグモは空を地球に結び付けるため、織物の線を紡ぎ続けました。次の日の朝早く、空はもっと高くなっていました。おばあちゃんの織物が付いていて、地面へと固定されています。空が最後にもう一度引き上がろうとすると、地球が揺れて震えました。動物たちは話すのを止め、空を見上げました。目を細めて見ると、おばあちゃんの織物が、空から地球までぶさがっているのが見えました。

動物たちは、おばあちゃんのところまで走って行くと言いました。「おばあちゃんグモよ、計画を聞いてあげなくてごめんなさい。そんな時間はないなんて言って、本当にごめんなさい。空が地球から離れるのを食い止めてくれて、ありがとう。こんな素晴らしいことをしてくれたから、あなたとあなたの子孫は、未来永劫、私たちの家の中どこにでも、住んでいいですよ」

その日以来、クモたちはどんな動物や人間の家にもいます。たとえ人々が、何年も前にした約束を忘れてしまったとしても、クモと動物は忘れていないのです。それでは今度はあなたが、早く起きて朝日の中、空を見ると、時々、空からクモの巣がぶらさがっているのが見えます。太陽光線を見ているんだよと言う人もいるでしょう。だけど、あなたはどのようにか分かりますよね。